

鶴来オンライン動画作成 ～SDGs 未来都市白山市の賑わい創出事業の一環として～

団体名●齋藤ゼミナール／代表者名●齋藤千恵(人文学部国際文化学科・教授)

はじめに

2021年度の齋藤ゼミは、SDGs 未来都市白山市の賑わい創出事業に参加させて頂き、外国人観光客向けの鶴来オンライン・ツアー動画を作成した。これは、ポスト・コロナの観光を意識したもので、日本の古い街並みや自然を潜在的外国人観光客に紹介しようという試みである。

活動内容

齋藤ゼミ3年生は、夏休み後、鶴来の街並みのバーチャル・ツアーとオンライン・ツアーの作成及びインスタグラムに活動をアップロードすることを目的に活動してきた。インスタグラムへの画像のアップロードを除いては、外国人観光客を対象としている。このため、まず、学生たちは、日本を訪れた外国人観光客の関心を探ろうと日本の観光地のレビューを集め、テキストマイニング分析を行った。この分析で外国人観光客の関心のある程度掴んだ後、撮影の下見をし、その後、ビデオカメラと360度カメラを用いて撮影を行った。

撮影時には、雨と霰が降っていたが、時折や止むこともあり、その間に、学生たちは、ドローンと360度カメラを用いての撮影を行った。ビデオ撮影では、学生たちは、2班に分かれて活動し、出来上がったのが、古い街並み編とスイーツ編のオンライン・ツアー動画である。古い街並み編では、白山ひめ神社や金剣宮をはじめとする神社仏閣や街角にある信仰の場所、そして木造建造物が続く街並みを撮影している。また、スイーツ編の撮影では、同じく「SDGs 未来都市白山市の賑わい創出事業」に参加した経済学部の石川ゼミと一部コラボレーションという形をとった。石川ゼミでは、ギフトというコンセプトのもとに活動し、そのギフトには、和菓子も含まれていた。そのため、スイーツ編では、和菓子店の撮影も含めた。和菓子店だけではなく、動画には、今どきのスイーツの店も含まれている。

成果、結果の考察

撮影された動画は、学生たちにより編集され、BGMと英語の字幕を付けられて、YouTubeに投稿されている。古い街並み編には、学生たちの持つ感性と人間的な温かさが生き、人々が生活する場としての鶴来を映像に収めた。古くから人々が生活の中で信仰してきた場所や人の温かさに触れることができる町、そしてその古い街並みを彩る豊かな自然を動画で見ることができる。スイーツ編の動画でも、やはり学生たちの若々しい感性と人との触れ合いを大切にする姿勢が見え、食べたくなるような鶴来のスイーツの画像とともに、現地でのコミュニケーションの楽しさを盛り込んだ動画となっている。

こうした動画作成を通して、学生たちが学んだのは、観光と文化というテーマのもと、人との触れ合いや人々の歩み、生活の場をどのように短い動画の中で表現するのかということであった。また、それを、英語を用いて、異文化を持つ人々に対してどう発信していくのかということであった。

今後の課題

今年度の活動では、その成果に、当初予定していたドローンや360度カメラで撮影した映像を取り入れたることができなかった。これは、今後の課題となる。また、これらの映像が果たす役割を、学生と共に考察していくことを考えている。



囲炉裏を囲む学生とそれを撮影する学生